



C2021-01 主仰光得

[今月の聖書]

詩篇

34:1 わたしは常に主をほめまつる。そのさんびはわたしの口に絶えない。34:4 わたしが主に求めたとき、主はわたしに答え、すべての恐れからわたしを助け出された。34:5 主を仰ぎ見て、光を得よ、そうすれば、あなたがたは、恥じて顔を赤くすることはない。34:6 この苦しむ者が呼ばわったとき、主は聞いて、すべての悩みから救い出された。34:7 主の使は主を恐れる者のまわりに／陣をしいて彼らを助けられる。34:8 主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。34:9 主の聖徒よ、主を恐れよ、主を恐れる者には乏しいことがないからである。34:10 若きしは乏しくなつて飢えることがある。しかし主を求める者は良き物に欠けることはない。34:19 正しい者には災が多い。しかし、主はすべてその中から彼を助け出される。

ヤコブの手紙

5:7 だから、兄弟たちよ。主の来臨の時まで耐え忍びなさい。見よ、農夫は、地の尊い実りを、前の雨と後の雨とがあるまで、耐え忍んで待っている。5:8 あなたがたも、主の来臨が近づいているから耐え忍びなさい。心を強くしていなさい。

イザヤ書

60:1 起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。60:2 見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあられる。60:3 もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る。

ヨハネによる福音書

8:12 イエスは、また人々に語ってこう言われた、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」。

2021年、新年あけましておめでとうございます。闇を光に変え、死を復活に変え、不可能を可能に変え、悲しみを喜びの賛美に変えてくださる主のゆえに、そのみ名を賛美いたします。

今年もイースターまで詩篇の学びを継続いたします。毎週の礼拝でも取り上げていますが、毎月のメッセージでも学んでいきましょう。そこにはイエス・キリストによる恵みが隠されているからです。詩篇 34 篇は、逆境にあったダビデがひたすら神を求め、なりふり構わず主をほめたたえた証の記録です。いつ終わるとも知れぬ暗闇のトンネルを進む時も、必ず出口の光が見えます。光に向かって進み続けるのです。足を止めてはなりません。後ろを振り返ってはなりません。前進し続けるのです。

生涯を傷病者の看護に捧げ、シスター・ドーラと愛称されたドロシー・ウィンドハム・パチソン(1832~78)は、英国ヨークシャーの小さな村で牧師の子として生まれました。少女時代は病弱だったために学校に通うこともできませんでしたが、「人は光の面を見つめて生きねばならない」ということを体得しました。20歳の頃、クリミア戦争におけるナイチンゲールの活躍を伝え聞いて看護婦になりたいと強く希望し、32歳でついに看護婦として小さな病院に赴任しました。1878年12月24日、「主が見えます、門は広く開かれています」と言って召天するまで、46年間、人々を励まし癒し続けました。

暗い方を見ないで明るい方を見ると言う事は、感謝すべきことを探し求めることです。喜びの種探しとも言えましょう。オリンピックがあるかどうか分かりませんが、感謝と賛美の金メダリストになりたいものです。神様の祝福が豊かにありますようにお祈りしています。

小田 彰

★下記アドレスに変更いたします。



← ホームページ <https://www.lighthouse-jiyugaoka.jp>

代表メール gospel@lighthouse-jiyugaoka.jp →



ホームページは12月にオープンします。移行期間(2021/3)までは

旧アドレスでの対応が出来ますがお早めに変更よろしくお願い致します。



光輝
主
王
日
占

詩三四五

二〇二三年元旦
十田 勤

